

# 建築文化奨励賞

環境に配慮した建築物

セミリタイアライフを満喫する木立の中の家

## 瀧仙郷（森田邸）

建築主：森田 泰次

設計：株式会社UCA・都市・建築設計事務所

施工：有限会社篠崎工務店

所在地：君津市山滝野582



9

南側外観：左手に見える階段より広いウッドデッキに上り正面右手に玄関がある。ウッドデッキの屋根には網入りガラスのトップライトがある。

房総の森の中に、その環境を存分に楽しむために建てられた、セミリタイアした夫婦の住宅である。東には房総の豊かで穏やかな山並みを望み、南には雑木林、5年もかけて土地を探したという建築主のこだわりが、建築のあり方にも生きている。なるべく、敷地の木を切らず、切った木はできるだけ建築に使用するという配慮もそうした場所への愛着と感じられる。木材の質感を前面に出し、幅の広い木デッキのテラスに囲まれた室内はのぼり梁によって高く持ち上げられたおおらかな空間

である。内部は住まい手によって、心地よく住みこなされている様子が伺われた。木造ということもあって、住まい手自身が、様々に手を加えて、生活と建築がシンクロして様子が微笑ましい。この建築が何か突出したものをもっているというわけではないのだが、住まい手がつくり続けていける隙をもつおおらかな木造住宅が、セミリタイアライフに大きな意味を持っていることは間違いないように感じられる。(篠原聰子)

